

東海学園大学 第2次中期経営計画（5ヶ年—2020.4～2025.3）の骨子

東海学園大学は、2015年度からスタートした第1次中期経営計画のビジョンを踏襲しつつ、責任ある高等教育機関としての更なる発展を遂げるため、以下の6つのプロジェクトによる計画を策定し、2020年度(令和2年度)からの5ヶ年での目標達成を目指す。

本学における既設学部学科・研究科の改廃や統合、新規設置等については、「①教育の質保証プロジェクト」の中で若干触れるのみに留めている。高等教育をめぐる社会情勢や政策の変化に迅速に対応し、戦略的視点から調査、研究、提言を行う「特別チーム」を学長のもとに設置し、大学の将来構想に繋がるその取り組みを早急に進めることを、本中期経営計画と併せて最重要課題と位置づける。

① 教育の質保証プロジェクト —人間力を育み未来を切り拓く人材の養成

a.	特色ある共通教育の推進	◇ともいき教養教育の構築 ◇ともいき実践教育の充実 ◇基礎的・総合的学力向上支援体制の強化 ◇自校教育の推進 ◇全学的な各種取り組みの実施
b.	学修成果の可視化と評価システムの構築	◇学修成果の可視化と評価システムの構築 ◇専門教育カリキュラムの体系化 ◇多様で柔軟な教育プログラムの推進
c.	教育力・指導力の向上	◇持続的な授業の質改善 ◇多様な学びへの対応 ◇外部研修への積極的参加
d.	研究力の強化	◇競争的研究資金獲得率の向上 ◇研究活動への支援システムの構築

② 学生満足度向上プロジェクト —多様なニーズへの適切かつスピーディーな対応

a.	学生サポートの充実	◇経済的支援 ◇心身の健康支援 ◇障がいのある学生に対する支援 ◇学生への情報伝達体制の整備
b.	キャリアデザイン支援の充実	◇キャリアデザイン支援体制の強化 ◇キャリアデザイン支援メニューの充実 ◇外部組織との連携
c.	課外活動活性化による帰属意識の醸成	◇クラブ活動活性化の環境整備 ◇学生が主体的に参加できる企画への支援 ◇ボランティアセンターの設置
d.	保護者との連携強化	◇保護者が参加しやすい企画の実施 ◇保護者からの意見を大学運営に反映させる環境の整備 ◇保護者対応部署の明確化

③ ブランド力向上プロジェクト —「東学オンリーワンの魅力」の構築

a.	大学広報戦略の強化	◇「共生(ともいき)」を前面に出した全学的ブランド力の強化 ◇特色を明確化した学部別ブランド力の強化
b.	ブランディングサポーターのネットワーク強化	◇在学生・保護者の満足度向上 ◇卒業生ネットワークの強化 ◇地域社会との連携強化
c.	学生募集戦略の強化	◇学部別学生募集戦略の策定 ◇成績優秀者奨学金制度の実質化と広報利用 ◇関連機関との連携強化
d.	地域社会との連携	◇地域社会への大学開放 ◇地元自治体との連携強化 ◇地域をフィールドとしたアクティブ・ラーニングの実施

④ キャンパス教育環境向上プロジェクト — 学生が誇りを持てる学修環境の実現

a.	施設設備の計画的な新設・更新・メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ◇「大学らしい雰囲気作り」に視点を置いた、両キャンパスターータルコーディネート ◇学生満足度調査による環境整備
b.	アメニティ空間の改善・拡充	<ul style="list-style-type: none"> ◇学生会館機能の充実 ◇学生食堂空間の利活用の検討 ◇多様な店舗展開と近隣住民への開放の検討 ◇ラーニング・commonsの利用促進(ゼミ活動・クラブ活動等) ◇大学や学園の歴史と伝統を紹介するコーナーの設置

⑤ 大学運営力強化プロジェクト — 「教学と経営の一体的運営」によるガバナンス機能の向上

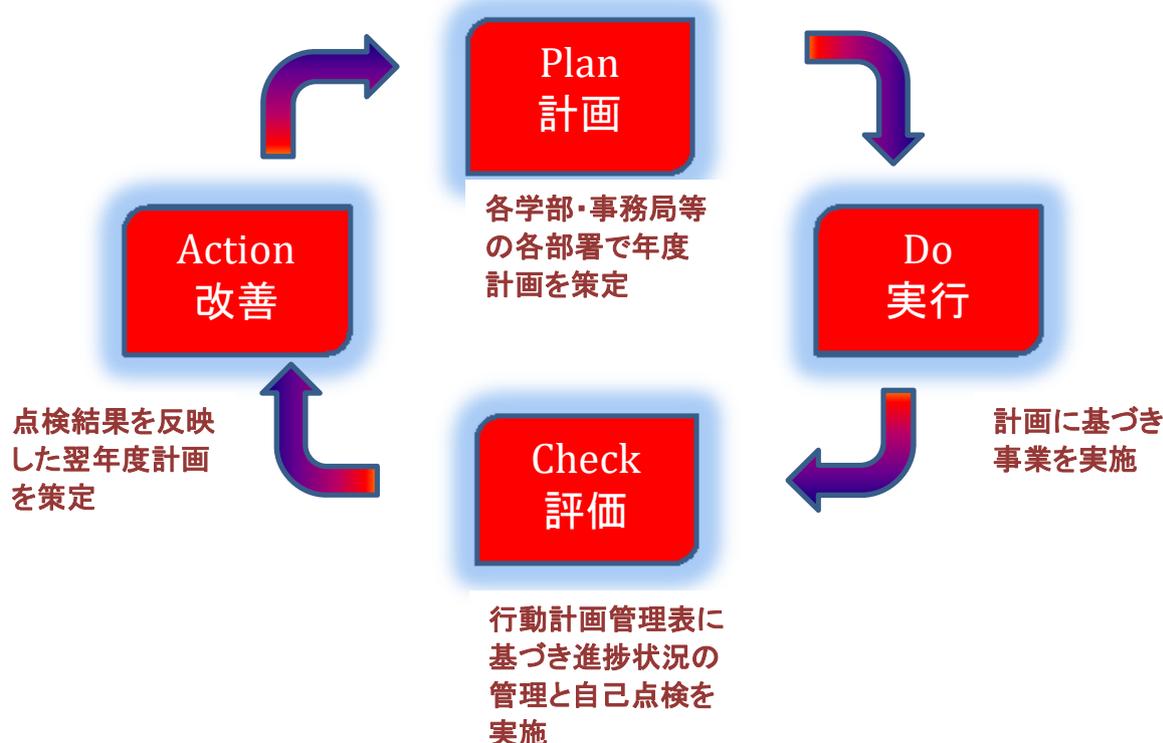
a.	業績評価制度等の導入と人材活用	<ul style="list-style-type: none"> ◇教育職員評価制度の導入の検討 ◇事務職員目標管理制度等の導入の検討 ◇有能な中堅教職員の発掘および幹部への育成 ◇教員採用・昇任人事システムの抜本的見直し ◇事務職員採用・昇任・登用人事システムの再構築
b.	事務組織体制の見直しと事務分掌の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ◇事務局組織の再編成と管理職専決事項の整理 ◇業務執行の確実化および円滑化 ◇SDの企画・運営体制の再構築(担当部門設置)と活動の恒常化
c.	諸規程の見直しと再整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇未制定や改正が必要な規程類の整備と規定に基づく業務執行 ◇大学の社会的責任(USR: University Social Responsibility)の研究
d.	IR機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇企画IR課の充実
e.	リスクマネジメント体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ◇危機管理体制のさらなる整備
f.	学部等運営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ◇各学部における委員会業務等の見直しと効率化 ◇各種委員会構成員削減・複数委員会兼務制限・所属委員会担当教員の責任の明確化 ◇学内ネットワーク活用等による諸会議の所要時間の抑制 ◇学部長等を含む管理職研修の定期的実施

⑥ 財務基盤確立プロジェクト — 学園の永続的發展に寄与するために

a.	経営環境変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◇大学(文系複数学部)部門における主な運営指標の全国平均値を上回る数値目標の達成 ◇大学設置基準等に基づき明示された教員の適正人数厳守と戦略的配置 ◇非常勤依存率の低減 ◇諸課題の調査・研究
b.	退学者対策推進による財務体質の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇「退学者減少化に向けての目標値の設定」に示された「退学率(除籍を含む)」および「修業年限卒業率」の数値目標の達成
c.	外部資金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ◇外部資金獲得を目的とする担当部門設置の検討と担当者の育成 ◇寄付金募集活動の積極的展開
d.	予算編成および執行管理体制の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ◇「予算委員会」の設置 ◇各部門からの予算要求から編成作業に至るシステムの整備 ◇学長裁量経費の新設

中期経営計画に基づく事業推進システムとPDCAサイクルの確立

「中期経営計画を年度計画に反映させ、当該年度の目標を設定し、事業を実施し、その点検評価を行い、翌年度の改善・ステップアップに結びつける」というPDCAサイクルシステムを構築する。このPDCAサイクルを学内各部門において実施することにより、全教職員がそれぞれの目標を共有し、目標に向かってのベクトルを合わせることが可能となる。



- 大学運営会議内設置のアクションプラン推進管理委員会が主導する「第2次中期経営計画 行動計画管理表」に基づき、各項目担当部門責任者は、毎年度その進捗状況を主要会議にて報告するものとする。
- アクションプラン推進管理委員会によるPDCAサイクルの検証にあたっては、常に自己点検評価委員会およびその専門部会であるIR推進委員会との密接な連携を図り実施するものとする。